

2026年度（令和8年度）入学者選抜試験問題

一般選抜（B日程）

2月22日 実施

国語

＊ 下記の＜注意事項＞をよく読み、監督者の指示を待ちなさい。

＜注意事項＞

－開始前－

1. 試験時間は60分です。監督者の＜開始＞の指示があるまで、この冊子を開けない。
2. 解答用紙には解答欄のほかに下記の2つの記入欄がある。その説明と解答用紙の「記入方法」を読み、2項目に記入またはマークする。
 - ・氏名及びフリガナ
 - ・番号 上段に受験番号を記し、下段にマークする。
※年月日及び右横の空白枠は記入しなくてもよい。
3. 解答用紙に汚れがある場合は、挙手で監督者に知らせる。
4. この冊子表紙の受験番号欄に受験番号を記入する。この冊子は試験終了後に回収する。

－開始後－

1. この問題冊子の問題部分は13ページです。開始後確認してページの落丁、乱丁、印刷不鮮明などがある場合は、挙手で監督者に知らせる。
2. 解答はすべて解答用紙の所定の欄へマークによって行う。
例えば、解答番号

3

 と表示のある問いに対して ② と答える場合は、解答番号3の解答記入欄 ② をマークする。

解答番号	解 答 記 入 欄
3	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

3. 質問などがある場合は、挙手で監督者に知らせる。
4. 中途退室は認められない。
5. 試験終了の合図（監督者の指示）と同時に筆記用具を置く。解答用紙は表向きにして問題冊子の右において、回収を待つ。次の指示があるまで席を立たない。

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

第一問

次の問いの語句の意味としてもっとも適切なものを、後の①～③の中からそれぞれ一つ選び、その番号をマークしなさい。

〔問一〕

常套句
じょうそうぐ

1

- ① 誰もが反論することができない的確な文言。
- ② 言い逃れをするときに、とっさに出てくる言葉。
- ③ 同じような場合に、決まって用いられる語句。

〔問二〕

年貢を納める

2

- ① 正当かつ適正な支払いや返済をすること。
- ② 今までの悪事に対する処分を受けること。
- ③ 当然の義務を果たすこと。

〔問三〕

屈託がない

3

- ① 信用できずに物事を託すことができないこと。
- ② 気にかかるところがまったくないこと。
- ③ 怠けるようにする気持ちが少しも現れないこと。

〔問四〕

当意即妙
とういそくみょう

4

- ① 素早くその場の雰囲気に合わせて機転をきかせること。
- ② 都合の良い意見に追従して、意に沿う結論に導くこと。
- ③ 自らの意見や主張に賛同するように促すこと。

〔問五〕

情けが仇^{あだ}

5

- ① 良い行いをしたからといって、必ずしも自分に良いことが訪れるわけではないこと。
- ② その人のために良かれと思ってしたことが、相手にとって良い結果にならなかったこと。
- ③ 善意で助けた人から、思いもしない裏切りを受けること。

〔問六〕

腐心^{ふしん}

6

- ① 考えこんだり、悩んだりすること。
- ② 騙すための方策を熟考すること。
- ③ 正常ではない考え方をすること。

〔問七〕

付和雷同^{ふわらいどう}

7

- ① 自分の考えと同じ考えをもつ他者と協調すること。
- ② 自分の考えを押し殺して、大勢に賛同すること。
- ③ 自分の考えをもつことなく、他の意見に同調すること。

〔問八〕

コロンブスの卵

8

- ① 物事を達成するための行程に優先順位をつけないこと。
- ② 何事も最初に行うのは難しいこと。
- ③ 今まで誰も考えもしなかった斬新な発想が成功につながる事。

〔問九〕

過ぎたるは猶^{なお}及ばざるがごとし

9

- ① 程度を越えたものは、足りないことと同じであること。
- ② 過ぎ去ってしまったものは、どうしようもないこと。
- ③ 時は過ぎ去ってしまうものであるから、今を大切にしなければならないこと。

〔問十〕

ノスタルジア

10

- ① 寂しくもの悲しい気持ち。哀愁。
- ② 幻想的なものへのあこがれの思い。憧憬。
- ③ 何かある懐かしいものへの思慕。郷愁。

第二問 次の問いに答えなさい。

〔問一〕 次の文について、日本語の表現として適切なものは①を、不適切な部分を含むものには②を選び番号をマークしなさい。

(1) 先生、明日の三者面談には両親とも出席いたしますが、よろしいでしょうか。

11

(2) 娘が持っている二つの犬のぬいぐるみは、タロー、ジローという名前を付けてとても大切にしている。

12

(3) ご購入いただいた商品は、このカードをご利用されると、さらに5%割引いたします。

13

〔問二〕 次の①～⑤の熟語の組み合わせのうち、**対義語の関係**にないものを一つ選び番号をマークしなさい。

14

① 一般 — 特殊 ② 任意 — 強制 ③ 悠長 — 性急 ④ 無償 — 有償 ⑤ 無垢 — 邪悪

〔問三〕 次の①～⑤の下線部の漢字について、適切に使われているものを一つ選び番号をマークしなさい。

15

① 帯を絞める。 ② 常軌を外れる。 ③ 運賃を清算する。 ④ 水質汚染の規準。 ⑤ 人質を開放する。

第三問 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

話題になっていることにすぐ飛びつくのが、ネットの世界でしょう。何か事件が発生したら、記者が駆けつける前に、現場に居合わせた人たちがどんどんSNSで発信し、それがあつという間に拡散されていきます。

速報性という点では、マスコミはネットにかないません。しかし、発信者の多くは生の情報の怖さを知らない、「ニュースの「A」」です。ジャーナリストとしての初歩的な訓練を受けていない人たちが、それが事実かどうかの確認もしないまま、発信・拡散していく情報は、はたして「真実」と呼ぶに値するものでしょうか。

(中略)

フェイクニュースの「フェイク」は「ニセ」を意味する言葉で、要するにデマのことです。デマ自体は、ネットが登場するずっと以前から存在し、人々をマド⁽¹⁾わせてきました。【①】

とはいえ、フェイクニュースを生み出したのは、爆発的な拡散力を持つネットの威力といっていいでしょう。いわば、ネットは「B」が無制限に飛び交い、それがさらに拡散されていくメディアです。真偽が確かでない情報を、皆が勝手にシェアしたり、リツイートしたりすることで、その影響力ははかりしれないほど危険なものになってしまっています。

最近になって、フェイスブックなど各社がフェイクニュース対策に乗り出し、その行方が注目されています。ただ、ネットが「自由」な世界である限り、このフェイクニュースの問題は下火になるどころか、これから常に「C」を醸^{かも}し続けることになるはずだ。

一口にフェイクニュースといっても、そのタイプはさまざまです。

ひとつは、「ありえないことが起こった!」という意外性を強調し、人々のジモク⁽²⁾を集めようとするフェイクです。【②】

あるいは、意図的に誰かを貶めることを目的に流されるフェイクもあります。

それから、確かな証拠はないものの、人々がなんとなく「そうなんじゃないか」と感じていることをフェイクニュースにして、「ああ、やっぱりね」と思わせるものもあります。たとえば、「マスゴミはわかっていても、本当のことを言わない」と考えている人が「実は、これが真実

なんだ」ともってもらしく主張するフェイクニュースに接したら、すぐに飛びついてしまうでしょう。このタイプのフェイクニュースでは、「メディアの報道は捏造だ。真相はこういうことだ」というパターンもあり、「そうだったのか!」と勝手に勘違いした人々を罠にはめようと狙っていたりします。

どのような意図が込められているにせよ、フェイクニュースというものは、私たちの「こうであってほしい」「こうだったらおもしろいな」という心理に巧みにつけこみ、「ニセ」の情報を信じ込ませてしまうことに変わりはありません。フェイクニュースが「D」する状況を見るにつけ、人々はもはやそれが「真実」かどうか気にしていないのではないか、と思えてきます。二〇一七年には「ポスト・トゥルース」という新語が英語圏で流行しました。「真実」かどうかは関係なく、とにかく感情的に心が揺さぶられればいい、ということなのでしょう。【③】

一度流布したフェイクは、長い間、人々の記憶にとどまり続けます。たとえあとで訂正されても、一度「ニセ」を信じてしまった人々の考えを変えることは容易ではないのです。「信じたものだけ信じる」人の心に、どうすれば「真実」を訴えることができるのか、有効な対策はいまだ見つかりません。

フェイクニュースの中には、元々は善意から発信されたのに、実はただの勘違いだったというものも少なくありません。誰でも勘違いすることはありますから、そのこと自体はしかたがないとも言えます。ただ、ネットにはそれを正す仕組みがないということが問題なのです。

また、何か大きな災害があると、必ずといっていいほど「外国人が盗みをしている」といったフェイクニュースが発信されます。【④】

ちよつと冷静に考えれば、こうした情報がデマであることは、すぐに気づけるはずです。第一、本当に泥棒がいたとしても、それが外国人だとどうしてわかったのでしょうか。日本人と同じ肌や髪の色であれば、日本人か外国人かの区別など、ぱつと見には判断できません。

それに、大都市ならともかく、普段は外国人が少ない場所に、そんなに大挙して外国人が押しかけているというのも、おかしい話です。そもそも災害で交通が遮断されている状況でどうやってすぐに被災地に行くことができたのか……と、いくつも「はてなマーク」が浮かんでくるでしょう。【⑤】

けれども、日頃から「外国人は犯罪者だ」という意識を持っている人がそうしたフェイクニュースを目にすれば、「ほら、やっぱり」と我が

意を得たりとばかりに、デマの拡散に励んでしまうのではないでしょうか。そんなふうにつけこまれないためにも、まずは常識を働かせることが大切なのです。

普段、ネットばかり見ていて新聞や本を読まない人は、伝える情報の正確性をチェックするためには時間も人手も必要だということを知らないのかもしれない。

こうした、情報の正確さを担保する作業を「校閲」といいます。辞書を引くと、「印刷物や原稿を読み、内容の誤りを正し、不足な点を補ったりすること」(『大辞林』第三版)と定義されています。【⑥】

通常、新聞や本などの印刷物は必ず、誤字脱字のチェックはもちろん、文章にフビ⁽³⁾はないか、また事実関係や意味に間違いがないかどうか、専門の校閲スタッフによる「E」確認を経て、世に出ています。

実は、私も校閲でいつも原稿を直されています。校閲から指摘を受けて「あちゃー、やってしまった」ということはしょっちゅうです。さらに、人間には間違いや見落としがつきものですから、基本的には複数の校閲スタッフのチェックが必須とされます。

実は、印刷物だけではなく、テレビでニュースを放送しているときに画面に出るテロップなどにも、ちゃんと校閲が入っています。それでも、ワープロソフトの自動変換機能に引きずられてしまうのか、同音異義語を間違えてしまったりすることがけっこう多いのですから、一〇〇%正確に情報を伝えるというのは、非常に難しいことなのです。ただ、校閲をちゃんとやっていれば相対的に間違いが少ない、つまり伝える内容がそれだけ信頼に値する、ということは確かでしょう。

校閲をしてもミスが出てしまうのだとしたら、校閲がなかったら、間違いだらけとなるのもあたりまえです。ネットの情報にどれだけ校閲が入っているのか。少なくとも個人が発信するSNSでは校閲という「第三者」のチェック機能は働いていないでしょう。つまり、そこで飛び交う情報を無条件に信頼するのはかなり危険だ、ということなのです。

ちなみに、毎日あれだけ大量の活字を紙面に掲載しているにもかかわらず、新聞は誤字脱字が非常に少ないメディアです。

では、新聞が発行されるにあたり、いったい何人で校閲をしているか知っていますか？何十人ではありません。一〇〇人、二〇〇人という人

数で、毎日、ひとつひとつの記事をチェックしているのです。

新聞が印刷されて私たちの手元に届くまで、まず記者が書いた原稿にデスクが手を入れ、印刷前のゲラの段階で数人の校閲スタッフが目を通します。その後、最初に印刷される「早版」が出ると、一斉に一〇〇人単位で記事に間違いがないかどうかを見ます。「早版」ではけっこう間違いもあるので、その後に印刷される「遅版」でそれが修正されていきます。

つまり、同じ日に発行されている新聞であっても、版によって情報の精度には差があるということです。「早版」では「あれ、見出しと記事の内容のニュアンスが微妙に違うぞ」ということもよくあるのですが、「遅版」を読むと、ちゃんと本文に合うように見出しが変わっていたりします。

「早版」よりさらに早く出るのは、新聞社のネット速報です。ネット速報の記事も当然、校閲は入っていますが、紙の新聞のように大勢の目でチェックされていません。それぐらい、校閲というのは大変な作業であり、多くの人の確認を必要とするものなのです。

一方、ネットでは誤字脱字があるのがあたりまえ、というぐらい、誤字脱字に寛容です。ネットは印刷物と違い、間違いがあつたらすぐ修正できますし、いざとなれば削除も簡単ですから、「あとで直せばいいや」という感覚なのかもしれません。【⑦】

しかし、誤字脱字は、校閲の機能がちゃんと働いていないという証拠です。つまり単なる文字の誤りにとどまらず、内容自体にも間違いが含まれている可能性が高いと考えられます。

たかが誤字脱字、ではありません。誤字脱字の多さは、情報を取り扱う上で最も重要な正確性を「F」しているということなのです。

どんなに念入りに校閲をしても、間違いは起きます。もちろん、あまりに間違いが多いのも問題ですが、大切なのは、メディアが自分たちの間違いをきちんと検証し、同じ過ちを繰り返さないように努力することでしょう。

^b逆説的ですが、訂正記事をしつかり出しているかどうかは、そのメディアが情報を取り扱う姿勢を測る目安となります。

丁寧^cに訂正しているメディアは、信頼に値するといえるでしょう。逆に、訂正記事が少ないメディアは、間違いを見落としているのか、それともあえて口を拭^cっているのだろうか、と疑ってしまいます。【⑧】

（池上彰『わかりやすさの罠―池上流「知る力」の鍛え方』）

〔問一〕 傍線部(1)～(3)のカタカナを漢字で書いたとき、後の①～④の傍線部に同じ漢字を含むものをそれぞれ一つ選び、その番号をマ

ークしなさい。

(1) マド

① ドウソウ会に行く

② 事件はメイキユウ入りとなった

16

③ メイワクをかけない

④ 議論がフンキユウしている

(2) ジモク

① チンモクを破る

② 真珠のミミカザリ

17

③ ゾウキバヤシ

④ ロジウラにいる猫

(3) フビ

① シュウシフを打つ

② 中でもハクビと言われる存在だ

18

③ フホウが届き涙する

④ ムボウビな様子で心配だ

〔問二〕 本文中の空欄「A」～「F」にあてはまるもっとも適切な言葉を、後の①～④の中からそれぞれ一つ選び、その番号をマークしなさい。

「A」

① サポーター

② フアン

③ フオロワー

④ アマチュア

19

「B」

① 起承転結

② 流言飛語

③ 金科玉条

④ 義理人情

20

「C」

① 物議

② 罪

③ 緊張感

④ 雰囲気

21

「D」

① 消滅

② 活躍

③ 蔓延

④ 刮目

22

「E」

① 寛容な

② 流暢な

③ 杜撰な

④ 綿密な

23

「F」

① こころざしと

② ないがしろに

③ おもてなしに

④ 人まかせに

24

〔問三〕

次の文章は、本文中の【①】～【⑧】のいずれかの位置から抜き出したものである。元に戻す段落としてもっとも適切な箇所を一つ選び、その番号をマークしなさい。

25

ぜひお手本としてほしいのは、アメリカの「ニューヨーク・タイムズ」の訂正記事です。「ニューヨーク・タイムズ」は、ときにはページの半分近くが訂正記事で占められることもあるほどで、そのことからして、入念なチェックを行っていることがうかがえます。特にウェブ版の訂正記事には工夫が凝らされていて、訂正前の記事のどの部分が間違っていたかということを、最初に記事が出た時点と訂正を入れたときの日付も添えて記載しています。

〔問四〕

傍線部 a 『マスゴミはわかっていても、本当のことを言わない』と考えている人」とあるが、これはどのような人の例として挙げられているか、もっとも適切なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

26

- ① 新聞社や出版社からの情報を鵜呑みにはせずに、情報を慎重に受け止める人。
- ② 世の中に溢れる誤った情報に憤りを感じ、自分は真実のみを伝えようという使命感のある人。
- ③ フェイクニュースが多くなっていることを把握していて、すべての情報を遮断している人。
- ④ 物事に偏見や先入観を持っていて、自分の信じたものだけ信じるような人。
- ⑤ 勝手に勘違いした人々を畏にはめようとして、フェイクニュースを流す人。

〔問五〕

本文中でフェイクニュースを拡散したりそれにまどわされたりする人について述べていたが、それにあてはまる人を次の A ～ G から選んだ組み合わせとして適切なものを後の ① ～ ⑥の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

27

- A わが意を得たりという情報に出会ったと、真偽は気にしない人。
- B 事件が発生したときに記者よりも早く現場に居合わせた人。
- C 冷静に物事の背景やこの先の影響について考える人。
- D 不特定多数から自分が注目されることを求める人。
- E ジャーナリストとしての訓練を受けていない人。
- F 常識的な知識を持ち情報の信頼性を気にする人。
- G 校閲された情報かどうかを確認する人。

- | | | |
|-------------|-------------|-----------------|
| ① B ・ E | ② A ・ B ・ E | ③ A ・ B ・ D ・ E |
| ④ C ・ D ・ F | ⑤ C ・ F ・ G | ⑥ D ・ E ・ F ・ G |

〔問六〕

次の ① ～ ⑥の中で校閲が入っていないものはどれか。一つ選び、その番号をマークしなさい。

28

- | | |
|---------------|--------------|
| ① テレビ番組内のテロップ | ② 『大辞林』などの辞書 |
| ③ 新聞記者が書いた原稿 | ④ 筆者(池上彰)の原稿 |
| ⑤ SNSでの個人の発信 | ⑥ 新聞社のネット速報 |

〔問七〕

次の①～⑥の中でもっとも多くの校閲を受けたものはどれか。一つ選び、その番号をマークしなさい。

29

- | | |
|---------------|-------------|
| ① ネット上の個人の発信 | ② 新聞社のネット速報 |
| ③ テレビ番組内のテロップ | ④ 「早版」の新聞紙 |
| ⑤ 記者が書いた原稿のゲラ | ⑥ 「遅版」の新聞紙 |

〔問八〕

傍線部b「逆説的」とあるが、これと似たような意味を持つ語句としてもっとも適切なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

30

- | | | | | |
|--------|----------|----------|----------|---------|
| ① バイアス | ② パラドックス | ③ コントラスト | ④ デイスタンス | ⑤ カウンター |
|--------|----------|----------|----------|---------|

〔問九〕

傍線部c「口を拭っている」とあるが、この意味としてもっとも適切なものを次の①～⑤の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

31

- | |
|----------------------------------|
| ① 食後に口の周りをきれいにするように、丁寧に身支度をしている。 |
| ② 不確かな情報を発信しそうになるのを、口を閉じて我慢している。 |
| ③ やましいことがあるのにそれを隠して知らないそぶりをしている。 |
| ④ これまでの失敗を水に流し、清々しい気持ちで仕切り直している。 |
| ⑤ 嘘を美しい言葉にしてさも真実のように伝えようとしている。 |

〔問十〕

次の(1)～(4)について、本文と異なる内容が含まれている場合には、その箇所を①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。①～④のすべてが本文の内容と合う場合には「⑤」をマークしなさい。

(1) フェイクニュースは、勘違いや思い込みの発信、人の役に立ちたい善意から生まれた誤情報、人から注目されたいがゆえの誇張表現などからも生まれる。フェイクニュースを人を貶める目的で流す者はいないが、誤りが含まれる以上、信じると面倒なことや危険につながる可能性がある。ネット上の個人による発信には警戒が必要だ。

32

(2) 近年「速報性」、つまり情報の速さに価値を置く人も多くなった。しかし、速さを重視すると誤りが見逃される点は注意が必要だ。同日発行の新聞でも、「早版」では見逃されたことが「遅版」では修正されて精度が高くなることもある。ネットの情報には誤りや悪意が含まれていることがあるので過信せず、校閲された適切な情報を選ぶという視点も必要だ。

33

(3) ネット上にはジャーナリストではない発信者も多く、ミスも発信されてしまう。ネット上の誤字脱字は比較的容認されているが、単に文字の入力ミスが見逃されたということだけではなく、チェック機能が適切に働いていないため内容にも間違いが含まれている可能性がある。つまり、後日誤りを謝罪しているサイトは信用に値しない媒体である。

34

(4) 一度流布したフェイクは、人々の記憶に残り訂正が難しい。架空と真実とが混在するネットの世界で真実だけを抽出する有効な対策が既にあるのだから、人々は早急に活用するべきだ。一方、二〇一七年に英語圏で「ポスト・トゥルース」という新語が流行した。自分の感情を揺さぶれば真実でも偽物でもかまわないという感覚の人が増えつつあることを示している。

35

国語 短大 一般選抜B日程 解答・配点

番号	正解	配点
1	3	2
2	2	2
3	2	2
4	1	2
5	2	2
6	1	2
7	3	2
8	2	2
9	1	2
10	3	2
11	1	2
12	2	2
13	2	2
14	5	2
15	2	2
16	3	3
17	2	3
18	4	3
19	4	3
20	2	3

45

番号	正解	配点
21	1	3
22	3	3
23	4	3
24	2	3
25	8	3
26	4	3
27	3	5
28	5	4
29	6	7
30	2	4
31	3	5
32	2	3
33	5	3
34	4	3
35	2	3
36		
37		
38		
39		
40		

55

一般選抜 B 日程
国 語 (短 大)

第一問

- 〔問一〕 常套句 同じような場合に、決まって用いられる語句。 正解③
- 〔問二〕 年貢を納める 今までの悪事に対する処分を受けること。 正解②
- 〔問三〕 屈託がない 気にかかるところがまったくないこと。 正解②
- 〔問四〕 当意即妙(とういそくみょう) 素早くその場の雰囲気に合わせて機転をきかせること。
正解①
- 〔問五〕 情けが仇 その人のために良かれと思ってしたことが、相手にとって良い結果にならなかったこと。 正解②
- 〔問六〕 腐心 考えこんだり、悩んだりすること。 正解①
- 〔問七〕 付和雷同 自分の考えをもつことなく、他の意見に同調すること。 正解③
- 〔問八〕 コロンブスの卵 何事も最初に行うのは難しいこと。 正解②
- 〔問九〕 過ぎたるは猶(なお)及ばざるがごとし 程度を越えたものは、足りないことと同じであること。 正解①
- 〔問十〕 ノスタルジア 何かある懐かしいものへの思慕。郷愁。 正解③

第二問

〔問一〕

- (1) 先生、明日の三者面談には両親とも出席いたしますが、よろしいでしょうか。

丁寧で自然な文になっている。

正解①

- (2) 娘が持っている二つの犬のぬいぐるみは、タロー、ジローという名前を付けてとても大切にしている。

主語がぬいぐるみになっている。ぬいぐるみが自ら名前を付け(かつ)大切にしているというのは不自然。娘を主語にして、「娘は、持っている二つのぬいぐるみにタロー、ジローという名前を付けてとても大切にしている。」のようにするのが自然。ぬいぐるみを主語とするならば、受け身になり、「名前を付けられてとても大切にされている」となる。

正解②

- (3) ご購入いただいた商品は、このカードをご利用されると、さらに5%割引いたします。

「ご利用される」は二重敬語「ご・・・れる」(尊敬語+尊敬語)になる。「ご利用になる」または「お使いいただく」が正しい。

正解②

〔問二〕 無垢 — 邪悪

正解⑤

無垢 ⇔ 悪徳 邪悪 ⇔ 善良

〔問三〕 常軌を外れる。

正解②

帯を絞める → 締

運賃を清算する → 精算

水質汚染の規準 → 基準

人質を開放する → 解放

第三問

〔問一〕

- | | | | | | |
|--------|------|--------|------|------|-----|
| (1) 惑 | ①同窓会 | ②迷宮 | ③迷惑 | ④紛糾 | 正解③ |
| (2) 耳目 | ①沈黙 | ②耳飾(り) | ③雑木林 | ④路地裏 | 正解② |
| (3) 不備 | ①終止符 | ②白眉 | ③訃報 | ④無防備 | 正解④ |

〔問二〕

- [A] 空欄 [A] の直前に「発信者の多くは生の情報の怖さを知らない」と、直後には「ジャーナリストとしての初歩的な訓練を受けていない人」とあり、ジャーナリストとしてのプロではない「素人」「初心者」というような意味が入ると推測できる。「アマチュア」を選ぶ。正解④
- [B] 空欄 [B] を含むこの段落では「真偽が確かでない情報」について述べている。そのような無責任な情報を指す「流言飛語」が入る。正解②
- [C] 空欄 [C] の直後にある「醸し」も大きなヒントである。世間で議論が起ることを「物議を醸す」と言う。正解①
- [D] 空欄 [D] の段落ではフェイクニュースが広がっていることが述べられている。好ましくないもの（病気や悪習など）が広がる様子を表す「蔓延」を選ぶ。正解③
- [E] 情報の正確さを担保する作業としての校閲について説明している部分であること、後に続く部分に「基本的には複数の校閲スタッフのチェックが必須」とあることから、「丁寧な」「きちんと」というニュアンスの語句が入ることが予想できる。選択肢の中から「綿密な」を選ぶと文脈が整う。正解④
- [F] 「誤字脱字の多さは、情報を取り扱う上で最も重要な正確性を [F] しているということ」という部分に入る語句で、「雑に扱っている」「後回しにしている」「軽視している」というような語句が入ると考えられる。選択肢の中では「ないがしろに」がそれらと同意。正解②

- 〔問三〕「校閲がきちんとされているメディアとしてアメリカの「ニューヨーク・タイムズ」が「お手本」として紹介されているとつかめる。訂正記事がとても詳しいという話をしているので、本文最後の方にある「訂正記事をしっかり出しているかどうかは、そのメディアが情報を取り扱う姿勢を測る目安となります」よりも後にあると文脈として自然であると判断する。正解⑧

- 〔問四〕傍線部 a の直前に「たとえば」とあることから、フェイクニュースに惑わされる人の例が挙げられているとわかる。本文に書かれているフェイクニュースに翻弄される人の特徴を参考に、選択肢から選ぶ。正解④

- 〔問五〕本文で述べられていたフェイクニュースを拡散したり、それにまどわされたりする人にあてはまるものを選ぶ。6 ページの最初の段落に「何か事件が発生したら、記者が駆けつける前に、現場に居合わせた人たちがどんどん SNS で発信し、それがあっという間に拡散さ

れていきます」とある。この部分と同じことを述べているBがあてはまる。また、この次の段落に「ジャーナリストとしての初歩的な訓練を受けていない人たちが、それが事実かどうかの確認もしないまま、発信・拡散していく」とあり、Eもあてはまる。6 ページの後半『ありえないことが起こった!』という意外性を強調し、人々のジモク（耳目）を集めようとするフェイクです」とあることから、Dもあてはまる。7 ページの前半に「フェイクニュースというものは、私たちの『こうであってほしい』『こうだったらおもしろいな』という心理に巧みにつけこみ、『ニセ』の情報を信じ込ませてしまうことに変わりはありません」とある。また、7 ページの最終行から8 ページの1 行目にかけて『『ほら、やっぱり』と我が意を得たりとばかりに、デマの拡散に励んでしまう』ともある。Aもあてはまる。よって、A・B・D・Eの組み合わせが適切である。 正解③

〔問六〕 8 ページの後半に「少なくとも個人が発信するSNSでは校閲という『第三者』のチェック機能は働いていないでしょう」とある。 正解⑤

〔問七〕 9 ページ前半「新聞が印刷されて私たちの手元に届くまで、まず記者が書いた原稿にデスクが手を入れ、印刷前のゲラの段階で数人の校閲スタッフが目を通します。その後、最初に印刷される『早版』が出ると、一斉に一〇〇人単位で記事に間違いがないかどうかを見るのです。『早版』ではけっこう間違いもあるので、その後に印刷される「遅版」でそれが修正されていきます」とある。また、その3行後には「『早版』よりさらに早く出るのは、新聞社のネット速報です。ネット速報の記事も当然、校閲は入っていますが、紙の新聞のように大勢の目でチェックされていません」とある。これらから、もっとも多く校閲を受けたものは「遅版」の新聞紙であるとわかる。 正解⑥

〔問八〕 傍線部b「逆説的」と似た意味の語句は、「パラドックス」。 正解②

〔問九〕 「口を拭っている」の意味は、「やましいことがあるのにそれを隠して知らないそぶりをしてる」。 正解③

〔問十〕

(1) 6 ページの後半に「意図的に誰かを貶めることを目的に流されるフェイクもあります」とある。「フェイクニュースを人を貶める目的で流す者はいない」の部分に誤りが含まれている。

正解②

(2) 本文で述べられていたことと合う内容である。

正解⑤

(3) 9 ページの後半に「どんなに念入りに校閲をしても、間違いは起こります。もちろん、あまりに間違いが多いのも問題ですが、大切なのは、メディアが自分たちの間違いをきちんと検証し、同じ過ちを繰り返さないように努力することでしょう」とある。また、「丁寧に訂正しているメディアは、信頼に値するといえるでしょう」ともある。これらの記述と、「後日誤りを謝罪しているサイトは信用に値しない媒体である」の部分が合わない。

正解④

- (4) 7ページの真ん中辺りに「一度流布したフェイクは、長い間、人々の記憶にとどまり続けます。たとえあとで訂正されても、一度『ニセ』を信じてしまった人々の考えを変えることは容易ではないのです。『信じたいものだけ信じる』人の心に、どうすれば『真実』を訴えることができるのか、有効な対策はいまだ見つかっていません」とある。この本文の内容と、「架空と真実とが混在するネットの世界で真実だけを抽出する有効な対策が既にあるのだから、人々は早急に活用するべきだ」の部分が一致しない。

正解②